

「歌枕 あなたの知らない心の風景」

サントリー美術館(六本木) 2022.06.29~08.28

古来、日本人にとって形のない感動や感情を、形のあるものとして表す手段は「和歌」であって、移り変わる自然やさまざまな物事に自らの思いを託して日本の美しい風景を詠ってきた。この「和歌」で繰り返し詠まれた土地には、特定のイメージが定着して、自らの思いを表わすことができるまでになる。

「和歌」によって特定のイメージが結びつけられた土地、それが今日に言う「歌枕」で本展のテーマであり、美しい「歌枕」の世界を数々の美術作品を通して紹介する企画している。

第一章 : 歌枕の世界 大画面の屏風絵

かつての日本では、長らく日本の名所は目に見える実景以上に、和歌の詩的なイメージによって表わされる伝統があった。

《吉野龍田図》左隻 六曲一双 17世紀(江戸時代)



第二章 : 歌枕の成立

第三章 : 描かれた歌枕

第四章 : 旅と歌枕

第五章 : 暮らしに息づく歌枕

「書く」という行為で和歌にゆかりの深い「硯箱」において、歌枕由来のデザインは高度に発達し、数々の名品が伝えられている。

《小倉山蒔絵硯箱》 一合 15世紀(室町時代) 重要文化財 左

《宇治の景文様小袖》 一領 18世紀(江戸時代) 右

